

# 月報 シオン山

2023年7月2日発行 (No394)

\*\*\*\*\*

## 日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

\*\*\*\*\*

### 【月間聖句】

神は御自分にかたどって人を創造された。  
神にかたどって創造された。男と女に創造された  
神は彼らを祝福して言われた。「産めよ、増えよ、  
地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、  
地の上を這う生き物すべてを支配せよ。  
(創世記1章27～28節)

「我が恵み 汝に足れり」

山下一 恵

「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ。」

新共同訳 コリントの信徒への手紙二 12章9節

文語訳聖書のこの言葉は、私にはとても身近な言葉である。二つ理由がある。

それは、私がまだ小学生くらいまで床の間にずっとかけられた掛け軸であった。毎晩それを見ていた。

この書は、湯谷先生という牧師先生に父が頼んで書いていただいたものだそうだ。

二つ目の理由は、私の名前がこの聖書からとられたからである。

小学 1 年生の時、担任の木部先生が宿題を出された。それは、自分の名前の由来を聞いて文章にしてくれることであった。私はこの木部先生が大好きだった。いつもそっと見守ってくれている感じで包み込まれているような温かさを幼いながらも感じていた。

私は、父に宿題の課題である名前の由来を聞いて、一恵の意味がこの「我が恵み、汝に足れり」と知った。聞いたまを文章にして出したら、木部先生はとてもほめてくれた。それで嬉しくてとても印象に残っているのだと思う。

小学生の時、礼拝の中で荒瀬牧師が講壇の上から「植木君は謙虚だね。今では百恵という名前が流行っているが一つの恵みで十分という名前を子どもにつけたのだから。」と言っていたのを覚えている。

私たちの信仰生活は、地上の満足にあるのではなく、祈りの中で主の御心を知り、そして従っていくことにある。弱いところが神の力のあらわれるところならば、これは感謝すべきことなのだ。(新約聖書一日 1 章 榎本保郎著)

最後に、父の書庫にあった本から一つの詩を記します。

「委ねよ」

1. あなたの胸にわいてくる未来にたいする心配を  
委ねよ 委ねよ 委ねよ すべてのことを良きようにして  
下さる父なる御神に
  2. 自分の力や知恵ではどうにも出来ない心配を  
委ねよ 委ねよ 委ねよ すべてのことを良きようにして  
下さる父なる御神に
  3. 友と楽しく話す時も胸から消えない心配を  
委ねよ 委ねよ 委ねよ すべてのことを良きようにして  
下さる父なる御神に
- 水野源三 第一詩集 「わが恵み 汝に足れり」より